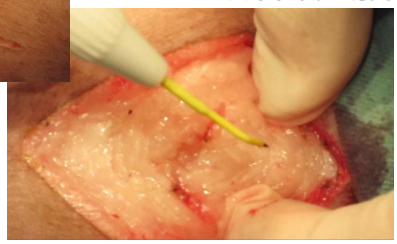
獣医科

Case 1 皮膚切開

皮膚切開には「エンパイアニードル電極」を用い、電極を垂直にすることで熱変性を抑えます。また、電極を寝かせて組織との接触面積を大きくし止血力を高めます。表皮を筆でなぞるように軽く切開し、皮下組織では電極をやや傾け、接触面を広く持たせることで、止血を抑えながら切開が行えます。切開面は熱侵襲が少なく、焦げもなく、術後の瘢痕も残らず、金属メスと同等の創傷治癒を期待できます。

エンパイアニードル電極
ｼｬﾌﾄ：30mm/ 電極外径：0.6mm

表皮の切開



皮下組織の切開

Case 2 口腔内腫瘤の切除

「ループ電極」を用いて腫瘤をすくいあげるように削ります。出血を抑えて腫瘤を切除することが可能です。
出力しながら組織に接触させると、スムーズに切離できます。電極を組織に押し当てたり、無理に引っ張るように動かすと組織にループが引っかかり、組織の引きつれや熱損傷の原因になりますのでご注意ください。

ラウンド型ループ電極
シャフト：32mm/ 電極外径：6.4mm

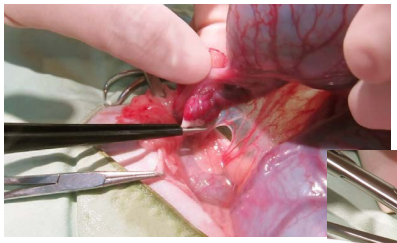
腫瘤切除

切除後

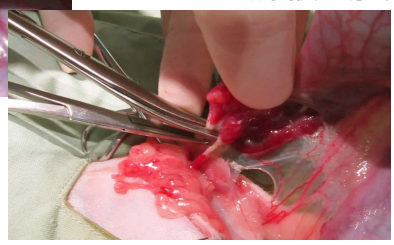
Case 3 卵巣動静脈の凝固（妊娠猫）

先端に組織が不着しにくい、「ACe-Tip™バイポーラ・フォーセップ」を用いて卵巣動静脈を凝固し、その後に切断します。バイポーラで卵巣動静脈を確実に凝固することにより、切断後の出血はほとんどありません。

ACe-Tip™バイポーラ・フォーセップ
全長：189mm/ 電極外径：1.5mm



バイポーラでの凝固



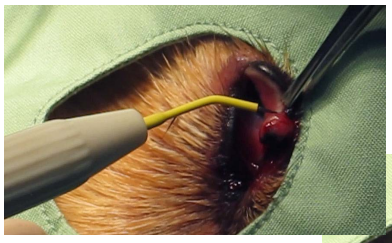
凝固後の切断

Case 4 眼瞼腫瘤摘出（マイボーム腺腫）

「エンパイアニードル電極」もしくは「ラウンド型ループ電極」を用いて腫瘤を摘出します。熱変性が非常に少ないので、一般的な電気メスやレーザーでは角膜に損傷を与える恐れがあるため不向きであったが、高周波ラジオ波メスは眼瞼の操作を可能にしています。また、出血を低減することで、摘出後の縫合が容易になります。

エンパイアニードル電極
ｼｬﾌﾄ：30mm/ 電極外径：0.6mm

ラウンド型ループ電極
シャフト：32mm/ 電極外径：6.4mm



腫瘤切除

切除後

※中山獣医科病院 院長　中山 正成先生　監修